



3 もみの木のまち

新庄市の最上公園の一角は新庄城址で、年輪を経た大きなモミの木がそびえ立つ土手と往時のままの堀が残り、散策や釣りを楽しむ市民の憩いの場となっている。また、付近は歴史と文化が調和した文化エリアとなっており、市民に最も親しまれている地域である。

「もみの木のみち」は、市街地中心部と最上公園を結ぶ位置にあり、周辺の環

境と調和した素材を使用することで、人にやさしい親しみのある空間としての形成を図ったものである。歩道の素材には、化学処理を施した木レンガを使用し、市の木にもなっているモミの木と市の花であるアジサイをデザイン化した装飾プロックを配した。また、植樹桝や歩道内の側溝蓋の上面も同素材を使用し、歩道との統一を図っている。

DATA・BOARD ③

- ①山形県新庄市堀端町地内
- ②歩道延長：153.4m、幅員：3.5m
- ③植樹樹、側溝蓋
- ④木レンガ（スギ材）



●ふるさとの風景にとけこむ道

